

令和3年度 体協ニュース

No.	3-③
行事名	加盟団体会長会・理事長会
会場	板橋区立グリーンホール 1階ホール
日時	令和3年10月27日(水) 午後6時30分～
主催	公益財団法人 板橋区体育協会

令和3年10月27日(水)午後6時30分から公益財団法人板橋区体育協会役員(理事及び監事)、体育協会加盟27団体の会長・理事長(代理含む)、板橋区体育施設責任者(指定管理者)が集まり、「加盟団体会長会・理事長会」が開催されました。



司会は、福澤敏子総務部長が務めました。

初めに加藤勝一体協会長から挨拶があり、続いて司会者から体育協会役員の紹介を行いました。今年度も、体協理事・監事のほか指定管理者の東京ドームスポーツから加賀スポーツセンター館長の若林 諭氏、東京ドームファシリティーズ板橋事業所から見上 渉氏と山田竜馬氏のご出席をいただきました。

続いて報告事項として「令和3年度事業計画の状況報告」が山口高史事業部長からありました。今年度予定されていた各種行事のほとんどが新型コロナウイルス感染症の影響で中止や休止となった事業があることが報告されました。また、板橋区・高島平ロードレース大会は長距離競走路として公認認定を取得し「板橋区・高島平ハーフマラソン」となったことが、報告されました。そして、毎月開催している定例理事会につきましては、緊急事態宣言発出期間はリモート形式で行っていたことも報告されました。

次に、関 昭新規事業企画部長から「板橋区体育協会スイミングクラブ事業『加賀校』の開校」について、説明がありました。小豆沢校に続いて9月にリニューアルオープンした植村記念加賀スポーツセンター(旧：東板橋体育館)にて新たにスイミングクラブを開校したことで、現時点での在籍者数(定員に対し約68%)について説明がありました。先に開校している小豆沢校におきましては全国大会へ出場した選手がいることや、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から緊急事態宣言中は休校措置をとったことなどの報告がありました。

続いて、「令和3年度育成費の振り込み及び賛助会費並びに正会員費の納入」について飯田知広財政部長から説明がありました。昨年度は、当協会スイミングクラブ事業による収益を活用し、育成費に特別給付金(コロナ対策費)を加算させていただきました。今年度は、長引くコロナ禍に対処できるよう現在も検討を続けているという内容の説明がありました。

次に「その他」、「質疑応答・意見交換」を行いました。新型コロナウイルス感染防止策を講じながら事業を進めていくための注意点や対応策の事例紹介がありました。また、体育館等で大会運営をする団体からは施設の空調で換気も十分にできるのか否かの確認など、安全・安心に各種事業を進めていくための質問や説明がありました。

結びに、高澤 誠体協副会長から挨拶があり、閉会となりました。

(浅賀 公子記)

